

自動化の監視とトラブルシューティングの5つの方法

Automation Analytics と Red Hat Insights for Red Hat Ansible Automation Platform を活用して情報に基づいた意思決定を迅速に行う

重要な用語

この概要では、重要な自動化の概念をいくつか取り上げています。

- クラスタ: インストールされた Ansible Automation Platform
- ホスト: サーバー、ルーター、ストレージデバイスなどの IT アセット
- タスク: ホストに対して実行される自動化の単位
- テンプレート (または Playbook): 一緒に実行されて自動化ワークフローを形成する、タスクの集合体
- ジョブ: ホストのセットに対して実行されるテンプレートのインスタンス

Red Hat® Ansible® Automation Platform は、組織全体で自動化を作成、構築、拡張するための強力なツールです。自動化が進むにつれて、取り組みを最適化するために、ジョブのパフォーマンスを追跡し、問題発生時に迅速に対応することが不可欠になります。

お客様の組織の自動化アプローチについて、以下の質問を問いかけてみてください。

- ▶ どのジョブが実行されているか、正常に終了したか、失敗したかを確認できていますか？
- ▶ どのクラスタがサポート終了またはライセンス容量の限界に近づいているか把握していますか？
- ▶ パフォーマンスの低下や停止につながる可能性のある脆弱性で、対処が必要なものはありますか？

これらの質問に答え、自動化プログラムを最適化できるようにするのが **Automation Analytics と Red Hat Insights for Red Hat Ansible Automation Platform** です。強力であるにもかかわらず普段見過ごされがちなこの 2 つのツールは、Ansible Automation Platform のサブスクリプションにバンドルされています。

Automation Analytics は、自動化のパフォーマンスと投資対効果 (ROI) を完全に可視化し、自動化のステータスの確認とトラブルシューティングを支援します。Red Hat Insights は Ansible で管理されたエコシステム全体の運用とセキュリティの問題を特定し、解決するための実用的なメトリクスを提供します。

ここでは、自動化の監視と最適化をより効率的に行うための、Automation Analytics と Red Hat Insights の役立て方の例をいくつかご紹介します。

1. 自動化ジョブを追跡する

自動化ジョブはさまざまな理由で失敗します。Job Explorer ダッシュボードにより、障害が発生した理由、問題の修正方法、今後起こりうる問題を回避するための自動化の適応方法を素早く可視化することができます。

以下のことを特定できます。

- ▶ 成功したジョブと失敗したジョブ
- ▶ Playbook の種類とそれを実行したチーム
- ▶ 各ジョブが失敗したタイミング
- ▶ 各ジョブが実行されたクラスタ
- ▶ 各ジョブを実行したユーザー
- ▶ 最も頻繁に実行される Playbook
- ▶ 最大 2 年間の傾向

2. 問題のトラブルシューティングを迅速に行う

アドバイザーと修復サービスは、パフォーマンスとセキュリティの問題をプロアクティブに特定し、どのシステム (Automation controller、Ansible Automation Hub、Automation services catalog) が影響を受けているかを迅速に評価するのに役立ちます。詳細を調べて推奨事項を確認し、問題を解決するための Playbook を即座に生成することができます。以下のことに対応できるようになります。

- ▶ Ansible Automation Platform の最新バージョンにアップグレードする前に更新が必要な有効期限切れのライセンス
- ▶ システムを外部からのアクセスにさらした構成設定
- ▶ ベストプラクティスの適用が必要なシステムパフォーマンスの低下

3. クラスタ、ホスト、チーム全体の自動化を監視するためにレポートを実行する

Red Hat の最もアクティブな自動化ユーザーは、自動化の測定と最適化のためにレポートモジュールを使用しています。このモジュールには、Ansible Automation Platform をご利用の他のお客様から最も要望の多かったダッシュボードが含まれており、自動化の取り組みを管理するために必要な正確なデータとメトリクスを提供します。次のことが可能になります。

- ▶ 各ジョブテンプレートによる変化を可視化する
- ▶ ホストとタスクの状態を確認し、ボトルネックやテンプレートの問題を特定する
- ▶ 異なるチームによるモジュールの使用状況を評価し、最も使用されているモジュールを追跡する
- ▶ 指定された時間内にジョブテンプレートによって変更されたホストの数を表示する
- ▶ 特定の時刻のホスト変化率に矛盾点がないかを見つける
- ▶ 特定の時刻にホストに到達できなかった理由を知る
- ▶ その他、定期的に新しいレポートが追加される

すべてのレポートは PDF 形式でダウンロードでき、E メールで共有できるため、自動化への投資のパフォーマンスと価値をより的確に伝えることができます。

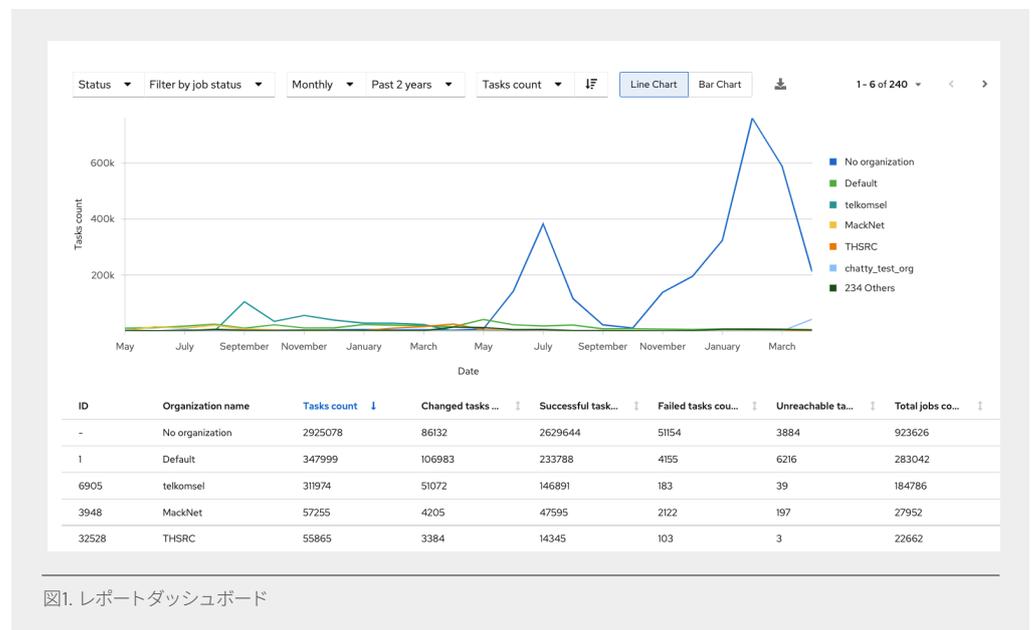


図1. レポートダッシュボード



4. システム間で一貫性のない構成を特定する

自動化の最も具体的なメリットの1つは、異種システム間で一貫した構成を確保できることです。

ドリフトツールを使えば、さらに2つのシステムを互いに比較したり、構成ベースラインを使用してすべての自動化インフラストラクチャがプロダクション標準と一致することを確認したりすることができます。メモリ、アーキテクチャ、オペレーティングシステム (OS) のバージョンを比較し、パッチやソフトウェアのアップグレードが必要な箇所を確認できます。

5. 事前通知を受け取る

自動化によって時間を節約できるため、より戦略的なプロジェクトに集中できます。以下のような注意が必要な重要事項のみが通知されるため、集中力が邪魔されることはありません。

- ▶ Playbook が失敗したクラスタ
- ▶ クラスタの容量が限界に近づいている、または限界に達している
- ▶ 期限切れのクラスタライセンス
- ▶ サポートが終了したシステム
- ▶ 収集されていないクラスタデータ

詳細はこちら

- ▶ [Automation Analytics と Red Hat Insights for Red Hat Ansible Automation Platform](#) の詳細を確認する
- ▶ [Insights for Ansible Automation Platform](#) を使用するべき6つの理由を読む
- ▶ 動画「[Automation Analytics と Red Hat Insights for Red Hat Ansible Automation Platform](#) を始める」を見る

今すぐ始める

Ansible Automation Platform 2.1 (およびそれ以前) を使用しているサブスクリプション登録者:

- ▶ [cloud.redhat.com](#) でデータ収集をアクティベートする方法について

Ansible Automation Platform 2.2 (およびそれ以降) を使用しているサブスクリプション登録者:

- ▶ データ収集のアクティベーションは、デプロイ時にアクティベートされます

Ansible Automation Platform をまだご利用でない場合、[60日間の無料トライアル](#)で今すぐお試しください。



Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のあるサポート](#)、トレーニング、コンサルティングサービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

アジア太平洋

+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア

1800 733 428

インド

+91 22 3987 8888

インドネシア

001 803 440 224

日本

03 4590 7472

韓国

080 708 0880

マレーシア

1800 812 678

ニュージーランド

0800 450 503

シンガポール

800 448 1430

中国

800 810 2100

香港

800 901 222

台湾

0800 666 052